

事業報告書

工組・支部名 : 函館地方電気工事協同組合青年部
働く車委員会

資料提出日 : 令和元年9月6日(金)
資料作成者 佐々木委員長

1. 【事業名】 はたらく乗り物大集合

2. 【実施日時】 令和元年8月18日(日)

3. 【実施場所】 函館港有川埠頭

4. 【提言書2016との適合性】 本事業に当てはまる項目番号と提言書ページ数をご記入ください

- ①人材育成と後継者育成 (P. 5~) ②組合員の経営安定化の支援 (P. 12~)
③技術・施工品質の向上と経営能力の向上 (P. 16~)
④その他 ()

◎項目番号 : ①

◎提言書ページ : _____

5. 【事業目的】

- ・主催は、函館市立幼稚園PTA連合会、函館キッズサポーターズ。
両団体を函電協青年部としてサポートし地域振興・活性化、長期で見る電気工事従事者増加へ印象付を目的に参加しています。

6. 【事業内容】

8月18日に行われる、幼稚園連合会・函館キッズサポーターズ主催の作業車イベントにボランティアとして参加し、無料にて高所作業車試乗体験を行う。

[スケジュール]

6月26日 事業委員会(はたらくくるま)開催

7月17日 はたらく乗り物大集合 第一回募集締め切り→事務局伊藤様のほうにて、仮申し込みをする。

7月24日 青年部役員会

7月25日 部員へFAXにて参加者募集 8月2日締め切り

8月1日 はたらく乗り物大集合 最終締め切り→事務局伊藤様と連携しながら、参加者の最終申し込み(人数の増減は、締め切り後も多少融通が利くようです。)

8月3日~9日 夏季休暇前に組合より資材運び出し・調達

8月18日 作並電気工事へ約7時集合~会場入り(8時予想~当日の配置で入り時間が変動)
10時開催~16時終了~片付け~18時半慰労会(美原 居酒屋炎)

[車両]

高所作業車 作並電気工事1台 岩井電気工業1台 きくち電工舎1台 を確保
積載車 越田電気ハイエース1台 を確保

[備品]

- ・ヘルメット3個・子供用ヘルメット6個・区画カラーコーン50本（作並電気・岩井電気借用）
- ・区画リングバー20～30本（作並電気・岩井電気借用）・看板2台・昇降用脚立3台・チョークライン・休憩用テント・クーラーボックス・簡易椅子・参加者用組合ベスト

[購入品・車両燃料損料・保険料]

- ・大人用ヘルメットを3個追加購入・熱中症対策品（飲料、塩飴、経口補水液・身体冷却材）
- ・養生テープ・ヘルメット洗剤・氷
- ・作業車燃料損料 高所作業車・積載車
- ・保険代

[配置]

当日北海道電力と合同にて、作業車を3台並べ、その後ろに積載車（休憩車両）を配置した。休憩スペースは積載車の後ろに配置した。入り口と出口に看板を配置し、混雑緩和を重点とした区画を作ることにした。

[当日事業内容]

- 8：30 作並電気工事集合 備品積み込み・買い出し
- 9：20 現地集合～ブースへの入場、ミーティング、準備
- 9：45 入場待ちで混雑しているため、開始時間を15分前倒しでスタート、最大1時間待ちの来客
- 16：00 終了
- 16：30 後始末、解散
- 18：30 美原 居酒屋 炎 にて慰労会開催

[慰労会]

当日参加者のみで行った。委員会に割り当てられた、委員会促進費と会費にて開催した。事業委員会1と総務委員会より、2万5千円の委員会裁量費を寄付いただいた。

7. 【参加員数】

- 第1回働く車委員会 出席者 岩井副部長、佐々木委員長、越田委員、作並副部長
欠席者 松永副委員長、手塚委員、工藤委員、吉田委員、室田委員
- 第8回はたらく乗り物大集合 出席者 大鎌、佐々木、大谷、中島、岩井、作並、外山、五十嵐、辻、加我、工藤、成田、松永、中山、越田、對島 計17名
- 第8回はたらく乗り物大集合慰労会 出席者 大鎌、大谷、岩井、作並、外山、五十嵐、佐々木、辻、工藤、成田、中山、越田、對島 計12名

8. 【外部協力者】

北海道電力（入口サポート）・電気工事組合 伊藤主任（申し込み事務作業）

9. 【事業総額】

53,700円

10. 【別添資料（写真・動画等）】

別紙参照願います







NEXT FORWARD ~新たな時代に向け躍動する青年部~









1 1. 【次年度へ向けての反省点】

- ・当日集合場所にて、誰が現地集合なのかわからなく、混乱を招いたので次回は、どちらに集合するのか確認をする。
- ・休憩所で舗装の上に座って休んでいたのので、イス、テーブルなども用意したほうが良い。
- ・来場者用の荷物預かりかごを、台数分用意したほうが良い。
- ・入口の看板しか用意していなかったのので、出口の看板と矢印看板も用意したほうが良い。
- ・出席者確定後、高所作業車免許所有しているか確認し、オペレータの人数を把握する。
- ・出席者確定後、当日のグループ分けをする。（オペ1名準備2名で1組・オペ2名準備2名など）
- ・20～30分交代時間などのローテーションの作成。
- ・乗車場所の周りが混雑し、次に乗車するのか不明になり混乱したので、乗車口の対策が必要である。
- ・当日着用した、組合スタッフベストのクリーニング代を予算に組み込むことを失念していたので、次回予算化する。